

所属・資格 国文学科・教授

申請者氏名 藤平 泉

研究課題		新古今時代後期歌人の研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	新古今和歌集の編纂時期の後期においては、藤原秀能、源通光など新進の歌人が登場している。しかしその歌風は、前代の藤原定家らの新風和歌の発展形であり、定家は、それらの作風に対して強い危機意識をもって否定している。本研究では、この新古今後期の歌人たちの和歌の特徴について考察することを目的とする。資料作成のためのワープロソフトおよびOA消耗品学会および資料調査のため旅費を申請する。
	研究の結果	後鳥羽院を中心として、新しい歌枕を創出する試みがあったことは、既に黒田彰子氏や拙稿において「秋の山」「水無瀬」などが上げられてきた。本研究では、新古今編纂時代における新古今歌人たちの活動を調査した。藤原秀能らはそれまで歌枕としてはほとんど認識されなかった地名を和歌に詠み込む試みを行っている。それに対して藤原定家はほとんど関心をしめしておらずその点からも当時定家が歌壇の中で孤立していたことを浮き彫りにしている。
	研究の考察・反省	拙稿や黒田彰子氏の研究を踏まえて、新古今時代の和歌からそれまでほとんど歌われていなかった歌枕歌を抽出しているが、それぞれ用例数は少なく、内容分析に手間取っている。また時期も新古今編纂前後で変化が見られる。今後さらに建保期を中心に分析をすすめる必要がある。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。 現在研究成果を口頭発表、論文化する準備をすすめている。